

個 人 質 問

議会事務局 処 理 欄	令和 6 年 8 月 19 日	16 時 58 分	受付
	質 問 順 位	第 9 番	

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 甲斐 百合子

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 6 年第 3 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 災害時の廃棄物処理について	【趣旨説明】 災害時は、家庭から発生する生活ごみやし尿に加え、被災家屋からは片付けごみなどの災害廃棄物、避難所からは避難所ごみやし尿が発生しますが、これらは全て市区町村が処理責任を有する一般廃棄物であり、災害時においても処理が継続的かつ確実に実施されることが、公衆衛生の確保および生活環境の保全の観点から極めて重要です。 本町においては、平成 30 年「災害廃棄物対策指針」「愛知県災害廃棄物処理計画」等と整合性を図った「武豊町災害廃棄物処理計画」を策定され、その後、今後発生が予想される南海トラフ地震等大規模災害に備え、令和 4 年改訂の「愛知県災害廃棄物処理計画」と最新の「武豊町地域防災計画」を踏まえ、本年 2 月に「武豊町災害廃棄物処理計画」が改訂されています。 いざ災害が発生すると、この計画を元に被害状況に合わせた「武豊町災害廃棄物処理実行計画」が策定され、迅速な処理が行われていくと思われます。 災害時は、上下水道の断絶などの被害が想定され、すぐさま多量の生活ごみやし尿が発生することが予想されます。住民の混乱を招かないためにも、平時からの取り組みが大変重要だと考えます。 また、最終処分場については、現在嵩上げ工事をし延命を図っているところですが、災害発生時にどこまで処分出来るか不安視する声があります。 災害発災後の迅速な廃棄物処理と住民の衛生的な生活環境のために、以下質問します。 【質問事項】 ① 仮置き場候補地についての本町のお考えはどうですか。 ② し尿について、仮設トイレや便袋の備蓄について本町のお考えはどうですか。 ③ 避難所と在宅避難の場合の、し尿の出し方と出した後の処理方法はどうなっていますか。 ④ 最終処分場について、通常ごみと、災害が起きた場合の本町のお考えはどうですか。 ⑤ 災害を想定した廃棄物処理の訓練について、本町のお考えはどうですか。

2. 災害対応力強化について	【趣旨説明】 本年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震は、341 名の死者（8／9 時点関連死含む）、12 万棟を超える住家被害（7／30 時点）など、甚大な被害をもたらし、今なお多くの方々が、避難生活を余儀なくされています。この地震では、古い家屋の倒壊や陸海空路の途絶、孤立集落の発生、長期間にわたる断水など、災害対応に係るさまざまな課題が明らかになりました。また、最近も山形県・秋田県をはじめ、各地で豪雨災害が頻発しています。南海トラフ地震の発生が危惧され、近年豪雨災害が頻発している現状とこれらの課題を踏まえ、災害対応力の強化に取り組む必要があると考え、公明党として要望書を作成・提出する事となりました。その中で、本町においてもお取り組みいただきたい点と気になる点をお聞きしたく、以下質問します。 【質問事項】 ① 外国人や、高齢者、障がい者などに配慮した避難情報の発信について、本町としてどのような取り組みをしていますか。 ② 発災後に被災者一人一人に対し、避難生活から、生活再建まで、迅速かつ効果的に切れ目無い支援が受けられるよう「災害ケースマネジメント」の実施について、本町のお考えはどうですか。 ③ 避難所の環境改善について、水循環シャワーやトイレトレーラー導入についての本町のお考えはどうですか。 ④ 地域防災力向上や防災人材の育成のため、防災士等の資格取得への補助の創設について、本町のお考えはどうですか。
-----------------------	--